

## 白山市立松南小学校

白山市立松南小学校（福永善則校長、児童数 374 名、15 学級）は、「平成 26 年度 文部科学省『スーパー食育スクール事業』推進指定校」として、研究主題“自ら考え 食をえらぶ子～白山手取川ジオパークを舞台にした食育の実践～”のもと、実践を行っています。

以下、その取組を紹介します。

### 1 主題設定の理由

食育基本法、文部科学省の「食育の在り方について」の最終報告、学習指導要領総則、石川県の「食育推進計画」をもとに、「食への意識と課題」を児童と地域の面から捉えた。

児童	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食の好きな児童が多く、給食の残食はわずかである。</li> <li>食の重要さを感じ、健康まで考えている児童はわずかである。</li> <li>地元の自然・食・人の営みに関する知識やそれらへの感謝の心がやや薄い。</li> <li>食品や食材への意識は希薄である。 等</li> </ul>
地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>農林水産物に恵まれ、発酵食品等の製造も盛んで、地域ごとに伝統的な食文化が受け継がれている。 等</li> </ul>



- 白山手取川ジオパークと食の関係及び食を支える人・つながり・願いに気付かせたい。
- 白山市の地産地消の意義や郷土への愛情を育む食育活動の創造を目指したい。


「研究主題」

### 2 食育全体構想図



### 3 公開授業

学 級	教 科 等	単元名・題材名	授 業 者	授業の様子
1の1	生 活	みんな いっしょに ～家族にここに大作戦～	中田 文乃	
2の3	道 徳	わたしたちのために ～げんきのもと～	谷内 康司	
3の1	国 語	五七五ではい句イング ～出かけよう！「食の季語道」～	金谷 齊 白山市俳句協会	
4の2	保健体育	育ちゆく 体とわたし	島野 純子 竹中 好美 (栄養教諭)	
5の1	総合的な学習の時間	白山市のめぐみを食べよう！	佐野あかね 生産者(株ヤマジマ) 白山市地産地消課 白山手取川ジオパーク協議会	
6の1	家 庭	考えよう これからの生活 ～食育SATシステムの活用～	川場 彩加 栄養管理士(株いわさき)	

たんぽぽ なかよし	生活単元	めぐみんビスケットを たくさんの人にたべてもらおう	林 文恵 中林 郁代	
--------------	------	------------------------------	---------------	---

#### 4 成果と課題

重 点	成 果	課 題
1 食の学びづくり	※自分の食生活を振り返り、食事の選び方や食べ方を見直そうとする意識の芽生え ↓ ○栄養教諭の専門性を活かした授業づくり ○課外での食育実践の積み重ね	※食に関する正しい知識を活かし、食を中心に据えた「もの・人・こと」と主体的に関わりながら考えようとする力の育成 ↓ ○6年間の系統性ある食育のテーマや年間指導計画の作成 ○思考力・判断力・表現力の育成
2 食のつながりづくり	※食育の中で育んできた見方・考え方・感じ方や地域の食文化を捉え、様々な人たちに広く発信する力の向上 ↓ ○出会う・体験する活動の重視 ○食育の学びを発表する場の意図的な設定	※課題を見つけ、それを追究する中で、新たな気づきや問いから、更に課題を見つけていく力の育成 ↓ ○学校・家庭・地域との一層の連携 ○学びの体験や価値づけと発信の工夫 ○食育の学びと学力向上の取組とを関連づけた行事の改善
3 食の広がりづくり	※地域の食文化への興味や理解の深まり ↓ ○現地（学校外）での体験学習の重視	※白山手取川ジオパークの農水産物や食文化を尊重し、大切に思う心の育成 ↓ ○地域・専門機関とのさらなる連携 ○感動ある体験学習の計画的配置

#### 5 掲示等



